

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2002	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
我が国を拠点とした環太平洋連携強化による環境微生物学研究の世界的一流誌を目指す取組み		日本微生物生態学会	会長・岡部 聡
学術刊行物の名称			(略称)
Microbes and Environments			M&E

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>国際誌である Microbes and Environments を世界的一流誌にするために、日本微生物生態学会は主に次の6項目を目標として設定している。</p> <p>①編集委員体制の国際化、②共同編集体制の実現、③審査・掲載システムの改良・効率化、④宣伝戦略による国際的競争力・認知度の向上及びプレゼンスの確立、⑤論文投稿・掲載の増加、⑥インパクトファクター(IF)の向上・維持</p> <p>このうち、4項目については目標値を達成しており、特にインパクトファクター(IF)等の影響力数値指数は順調に伸びていることから、優れていると評価できる。</p> <p>一方で、①編集委員体制の国際化のうち、外国人編集委員の割合を30%で安定化するという取組及び⑤投稿・掲載論文数を増加するという取組については、目標値を下回っているため、引き続きの努力が求められる。</p>	